

2021年度の金沢星稜大学地域連携活動の総括

2021年度の地域連携活動は、4月の第4波、8月には第5波が、そして年明けに第6波と2020年度に引き続き、制限を余儀なくされる中での実施となりました。それぞれ制約のある中、オンライン等を利用しながら感染防止対策を徹底し実施に努めていただきました。本年度の地域貢献活動は、「地域連携による地域貢献活動」推進事業が5件、学生主体の星稜ジャンプ地域活動プロジェクト(ちいプロ)が5件、その他各自治体との包括連携協定にもとづく地域貢献活動が多数と、多くの活動に取り組んでいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大は新たな課題を社会に突きつけました。今まで普通に行っていた移動が制限されたり、人と人の集合が縮小されたりと、連携には欠かすことができない行為が一転したと言えます。しかし、このような中であったからこそ、みなさまが英知を駆使し、今までになかったリソースを組み入れ、積極的な活動を行っていただいたと考えます。地域の方々、関係機関・団体のみなさま、そして学生・教職員のみなさまの創意工夫の活動に敬意を表します。誠にありがとうございました。

本学の大学憲章の「研究」の項目には、「創造的研究成果を生み出し、国際的・学際的研究に挑戦するとともに、「地域とともに歩む大学」として、地域社会の課題解決に努め、着実な研究成果を地域社会に還元する。」とされています。

ますます深刻化する少子高齢化の課題をはじめ、過疎・交通、雇用・医療・福祉、環境、そしてコロナ禍での地域生活等といった地域の課題は重層的でかつ山積しています。これらの課題を関係機関・団体、地域住民のみなさまとともに考え、活動し、地域社会との関係を積極的に構築してまいります。また、SDGsが社会的に認識され拡大されつつある中で、本学も積極的に参加しています。

本学の地域連携活動は、地域活動と地域研究をもって、地域貢献に努めるとともに、「地域とともに歩む大学」として、地域のみなさまに愛される大学となる取り組みの一つとして地域貢献活動を進めてまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

2022年3月

金沢星稜大学地域連携センター長
曾我千春